

2020年11月22日

## 第8回技術士受験説明会実施速報

技術士受験対策委員長  
田中好雄

11月21日(土)14:00～17:00、コロナ禍の中でZoomを活用して開催いたしました。

令和元年(2019年)から経営工学部門・技術士第二次試験の内容が変更されました。従来の選択科目ロジスティクス、数理情報が生産マネジメントと統合され、「**生産・物流マネジメント**」と改称されました。従って経営工学部門の選択科目はサービスマネジメントとの2科目に集約されたこととなります。この選択科目の歴史は包装から始まり、包装及び物流、ロジスティクス、そして「**生産・物流マネジメント**」となりました。世相を反映した試験制度の導入であり、包装・物流を専門とする分野に「**生産**」が入り、サプライチェーン(生産・加工・流通)全体を包括した受験範囲の拡大であり、「**コンサルタントとしての幅の広がり**が期待されている」という見方ができます。

毎年会場で直接対面する方法とは異なり、コロナ禍の中、Zoomによるテレワーク方式で初めて開催されました。

参加者は、東京と近県、中部、関西から11名が参集し、包装9名、物流2名という内訳でした。当会からは14名が参加しました

### 1. 当グループ側からの話題提供

例年の通り当会会長(野田治郎会長)の挨拶に始まり、技術士受験対策委員長(田中好雄)が技術士の社会的役割、受験に際しての心構え、効率的な受験対策、技術士になって得た経験・スキルなどを基調講演として45分レクチャーしました。

次に近年合格された中堅・若手技術士3名がパネラーとして立ち、生産・包装・物流の3分野について、それぞれの立場から各自20分間ホットな体験談を披露されました。

2. その後、休憩を挟んだQ&Aのコーナーでは参加者から質問がなされ、当グループのメンバーが回答に当たりました。

最後に、本企画・運営に当たり、理事、会員、関西支部、関係機関の方々に多大なご協力を頂いたことを心から感謝すると共に、次回はコロナ禍が治まりより多くの参加者と共にお会いできることを心より祈念しております。

以上